

講座テーマ「法教育と指導モデル」(6時間)

テーマの概要(特徴)

学校教育における法教育の必要性は高まっており、教育現場においても実験的な取組の事例も見られるが学校・教員の側における「法は難しいもの」との先入観による躊躇やためらいが法教育の浸透への足かせとなっている。かかる現状を踏まえて、法教育の意義・役割を理解し、その教育方法を習得することにより、現場における実践の手がかりとなる具体的な授業モデルを提示することが本講義の目的である。

この教育目的を達成するため、本講座は、司法制度の現状と法教育の意義・役割についての「講義」を行い講義の後、法教育の「核」となる「ルール」学習について、「基礎」、「応用」の二部形式による「演習」を行う。

「演習」は、「基礎」、「応用」いずれについても事例に基づく質疑応答(プレゼンテーションとディスカッション)を中心に行われる。

なお、本授業は、佐賀県弁護士会と佐賀大学有志で構成する「法教育研究会」が提供する。その構成員名は以下の通りである。

佐賀県弁護士会 (稲津 高大、東島 浩幸、池田 晃太郎、安永 恵子、井寺 修一、出口聡一郎)

佐賀大学経済学部一法務管理コース (樫澤 秀木、岩本 諭、中山 泰道、井上 亜紀、丸谷 浩介)

小西 みも恵、奈須 祐治、栗林 佳代)

佐賀大学文化教育学部 (松尾 正幸、佐長 健司、吉岡 剛彦)

時限	時間	講義形式	講義題目 担当者	講義内容
	9:00~9:10	※10分オリエンテーション		
1	9:15~10:45 (90分)	講義	法教育の理念と到達目標  法教育研究会全 会員	・法教育の理念・歴史 ・司法制度改革の現状、特に裁判員制度の趣旨と仕組み ・学校教育における「ルール教育」の意義と必要性 ・「ルールの拘束性」と「ルールの可変性」 ・ルールを作り、守り、変えていくことの重要性
2	10:50~12:20 (90分)	演習	基礎演習「ルール 概念とルールづく り」  法教育研究会全 会員	事例(i)「新運動部の創設を契機とする、体育館の利用についてのルールの策定」~個と個の間のルールについての学習 事例(ii)「市営の通学路線バスが赤字のため廃止されることとなったことについての対応策を考える」~公共ルールについての学習
	12:20~13:20			
3	13:20~14:50 (90分)	演習	応用演習「消費者 と法」  法教育研究会全 会員	事例(I)「コンビニで購入した牛乳が腐っていた場合、私 がとるべき手段について」~消費者取引についての応用学 習 事例(II)「『おまけ』付のA社のペットボトル茶と、何もつ いていないB社のお茶、私が選ぶのは…」~適正な選択につ いての応用学習
4	15:00~16:45 (90分)	講義 ・ 筆記 試験	法教育研究会全 会員	「事例」を題材した出題を行う。採点・評価のポイントは、い かなる法律問題であるかについての的確に整理できたかど うか、自己の整理に基づく授業構成・進行案が適切に作 成できたかどうかである。
	終了後		評価フォーマット記入、事務連絡	